

令和7（2025）年度

# 運営に関する計画・自己評価

## 中間評価



大阪市立木津中学校

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

○生徒は落ち着いた状況で学校生活を送ることができている。全国学力学習状況調査等の結果からも自尊感情や自己有用感の高まりが確認でき、このことがベースとなり今の学校の状況を作り上げている。厳しい生活状況の中ではあるが、授業規律は確立されており規範意識も高い。このような状況は、普段のきめ細かな生徒指導や学校行事・学年行事等の運営が土台となっており、引き続きこの状況を維持しつつ、取り組みを継続していくことが必要である。

○課題としては、基礎学力の定着・基本的な生活習慣の確立や家庭学習の定着などがあげられ、さらなる授業改善を行い主体的・対話的に深く学ぶ姿勢を育むとともに、しっかりと家庭と連携しつつ現状を改善していく取り組みが必要である。

○現在本校における生活指導の取り組みについては、生徒や保護者の理解と信頼を得ながらスムーズな指導体制が整っている。この現状を維持しつつ丁寧に対応し、いじめや問題行動が発生しないよう未然防止の取り組みを今後も教職員と地域関係諸機関で進めていく必要がある。

○支援が必要な家庭環境にある生徒が多く、継続的な支援と保護者も含めて相談しやすい地域関係諸機関との環境の整備やさらなる連携がいる。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度の中学生チャレンジテスト・アンケートの結果において「授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を82%以上にする。（令和5年度79%「校内調査」）

○令和7年度の生徒のアンケートの結果において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目において、肯定的に回答する生徒の割合を、82%以上になるように維持する。（令和5年度79%）

○令和7年度の生徒のアンケートの結果において、「あいさつをきちんとしている」の項目への肯定的な回答の割合を、令和5年度の水準（97%）を維持する。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査における各教科の平均正答率が、全国平均と10ポイント以上の開きが発生しないようにする。（令和5年度11.1ポイント）

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国比1.01をめざす。

○生徒アンケートの結果において、「授業中はまじめに取り組んでいる」の項目への肯定的に回答する生徒の割合を、令和5年度の水準（90%）を維持する。

○近年、外国からの転入生が多く、日本語日常会話もできない生徒も存在する。これら外国籍生徒の進路が保証できるよう、放課後学習や抜き出し指導を行い基礎基本的な学習能力の定着と日本語能力の向上に努め、100%の進路保障をめざす。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

○生徒が授業日において、学習者用端末を1日1回は使用する割合を100%をめざす。ただし、学校行事等ICT活用が適さない日を除く）

○「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を90%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ①年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を **85%以上**にする。 (令和6年度76%)
- ②年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を **前年度より減少**させる。 (令和6年度17.6%)
- ③年度末の校内調査における、前年度不登校生徒の改善の **割合を増加**させる。 (令和6年度14%)

#### 学校園の年度目標

- ④生徒アンケートの結果において、「毎朝登校前に朝食を食べている」の項目への肯定的な回答の割合を、**85%以上**にする。 (令和6年度82%)
- ⑤生徒アンケートの結果において、「あいさつをきちんとしている」・「正しい言葉づかいをするようにしている」の項目への肯定的な回答割合を **令和6年度の水準(94%・95%)**を維持する。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より **2ポイント向上**させる。 (令和6年度2年国語0.78数学0.73/1年国語0.80数学0.77)
- ②大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学生3年生の割合(4技能)を、**55%以上**にする。 (令和5年度38.8%/令和6年度69.7%)
- ③年度末の校内調査における「学級の生徒との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるでしょうか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を **40%以上**にする。 (令和6年度34%)
- ④年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を **55%以上**にする。 (令和6年度49%)

#### 学校園の年度目標

- ⑤令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の **全国比1.01**をめざす。 (令和6年度男子0.98/女子0.90)
- ⑥生徒アンケートの結果において、「授業中はまじめに取り組んでいる」の項目への肯定的に回答する生徒の割合を **令和6年度の水準(93%)**を維持する。
- ⑦外国籍生徒の進路が保証できるよう、放課後学習や抜き出し指導を行い基礎基本的な学習能力の定着と日本語能力の向上に努め、**100%の進路保障**をめざす。 (令和6年度100%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、**年間授業日の50%以上**にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く) (令和6年度1%)
- ②第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を **90%以上**にする。 (令和6年度84%)

#### 学校園の年度目標

- ③授業日における、学校ホームページの平均アクセス数を、**100以上**を維持する。 (令和6年度127.6)



大阪市立木津中学校 令和7（2025）年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	
A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標（最重要目標1 安全・安心な教育の推進）	達成状況
①年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を <b>80%以上</b> にする。 <i>（令和6年度76%）</i> ②年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を <b>前年度より減少</b> させる。 <i>（令和6年度17.6%）</i> ③年度末の校内調査における、前年度不登校生徒の改善の <b>割合を増加</b> させる。 <i>（令和6年度14%）</i> <b>学校園の年度目標</b> ④生徒アンケートの結果において、「毎朝登校前に朝食を食べている」の項目への肯定的な回答の割合を、 <b>85%以上</b> にする。 <i>（令和6年度82%）</i> ⑤生徒アンケートの結果において、「あいさつをきちんとしている」・「正しい言葉づかいをするようにしている」の項目への肯定的な回答割合を <b>令和6年度の水準（94%・95%）を維持</b> する。	B

中間評価

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向1 いじめへの対応】 ・1週間を振り返って、教育相談、懇談、いじめのアンケート調査、相談申告機能を実施する 指標 ・毎週末に「1週間を振り返って」のアンケートを実施し、生徒が1週間どのように過ごしたのかを把握する。あいさつ、言葉使いについても項目を設定し、規範意識を高める。教育相談と懇談を全学年年2回以上実施する。 ・生徒から悩みの相談や、相談申告機能での申し出があれば、随時対応する。 ・いじめに関するアンケートを年3回以上実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。	B
取組の進捗状況の結果と分析	
① 「1週間を振り返って」を毎週末に実施し、トラブルを未然に防いだり、早期に対応している。5月の「いじめについて考える日」の前後にいじめアンケートを行い、随時対応を行った。教育相談では、生徒の様子を把握し、日々の指導に繋げることができた。	
次年度への改善点	
①	

<b>取組内容②【基本的な方向1 児童虐待等への対応】</b>		B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員対象の研修会で生活指導の情報交換会を設け、不登校生徒、虐待の恐れがある生徒の把握、対応策を計画する。また、普段の生活指導の課題を見だし改善に努める。</li> <li>・関係諸機関と連携をはかる。(2ヶ月に1回のスクリーニング会議、要対協の開催、警察OBの巡回訪問相談会)</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回以上の教職員情報交換会を設け、気になる生徒の実態を把握する。教職員と、生徒との深い信頼関係を維持させるため普段の学校生活から正しいあいさつ、言葉づかい、コミュニケーションの工夫などを実践しているか研修会の中で確認する。</li> <li>・またSCや関係諸機関など、積極的かつ綿密な連携をはかり、生徒が専門的な指導を受けられる体制を整えること、早期での対応ができることに努める。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
②	きめ細やかな生徒情報交換を行った。そのため、職員が学年を越えて生徒の実態を把握し関わることができた。また、外部と会議を行い、関係諸機関と綿密な連携をはかることで、学外での生徒の家庭状況を知ることができた。課題を残す部分はあるが、連動して対応することができた。	
<b>次年度への改善点</b>		
②		
<b>取組内容③【基本的な方向1 防災・減災教育の推進】</b>		B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「消防計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災避難訓練(5月)・区役所との防災訓練(7月)・大阪880万人(地震・津波)訓練(9月)を実施する。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
③	「消防計画」「安全対策マニュアル」に基づき、火災避難訓練を実施し、迅速、冷静、安全に行動することができた。防災訓練では、起震車で地震を体験するなど防災に対する意識を高めることができた。また、地震・	
<b>次年度への改善点</b>		
③	防災訓練を行うことで防災意識を高めることもできた。後半も引き続き防災意識を高めさせていきたい。	
<b>取組内容④【基本的な方向1 安全教育の推進】</b>		B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル教育について、教科の学習や外部講師を招きSNSなどの被害から生徒を守る。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回以上警察によるスマートフォンの取り扱い、SNS使用上の注意についての講演会を開く。必要であればその都度外部講師を招き、指導に役立てる。また、リーフレットの配布や、各教科の学習、集会の中でSNS上の事例を紹介し、予防策、解決策を中心に情報モラル教育の充実を図る。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
④	浪速警察による非行防止安全教室を開催してSNSの使い方について指導を行った。保護者(新入生)への協力依頼は新入生向けの説明会や入学式で行った。生徒への事前指導は全校集会や学年集会で話をし、事後指導は事案が起きてからにはなるが、その都度丁寧な指導を行った。しかし、SNSが絡む事案は起きているため、引き続き指導を行う。	
<b>次年度への改善点</b>		
④		

<b>取組内容⑤【基本的な方向2 道徳教育の推進】</b>		<b>B</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育を推進することを通して、自己の生き方を考え、自他を大切に、よりよい集団生活を送る基本となる道徳性を養う。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実施後の生徒の感想より、各内容項目についての理解が深まっているか、また実践したい意欲に結びついているかを確認する。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
⑤	道徳ノート、独自で作成したワークシートを活用し、多面的・多角的にもの考え、深める授業が各学年で展開できているように感じた。	
<b>次年度への改善点</b>		
⑤	進捗状況：継続して道徳の時間は確保していき、考え・深める授業を展開していく。	
<b>取組内容⑥【基本的な方向2 キャリア教育の充実】</b>		<b>B</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の充実として、社会情勢に配慮した形で職業講話、職場体験学習等を行い、自らの進路について主体的に考える姿勢を育てられるよう、計画的に進路指導を行う。また、キャリアパスポートにより小学校から系統立てた進路指導ができるように配慮する。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習実施後の生徒アンケートで、「有意義であった」「毎日の学習が大切だ」という肯定的な回答を75%以上にする。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
⑥	各学年において職業調べや職業講話、職場体験学習などの取り組みを計画通り進めている。	
<b>次年度への改善点</b>		
⑥		
<b>取組内容⑦【基本的な方向2 人権を尊重する教育の推進】</b>		<b>B</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の教育活動のなかでの人権を尊重した生徒への関わり、また各学年の実態に応じて各人権課題について学習を深めることを通して、人権尊重の学校づくりを進める。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも「にんげん」集中実践を終えた後に生徒に対してアンケートを行い、授業に対する満足度や肯定的な評価を指標とする。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
⑦	各学年において、計画的に「にんげん」実践の取り組みを行っている。また、なにわ人権文化祭の取り組みなどを通して、人権感覚の育成に努めている。	
<b>次年度への改善点</b>		
⑦	時代の変化によって変化していく人権課題に対応できるような取り組みを今後も推進していく。	
<b>取組内容⑧【基本的な方向2 多文化共生教育の推進】</b>		<b>B</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国にルーツを持つ生徒が普段の授業で困らないよう、日本語指導や基礎・基本的な学習能力の向上に努める。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外のルーツを持つ生徒に対して、週1回以上の放課後学習や授業中の抽出指導などを行い、本人が希望する高校に進学ができるよう進路指導を含め、保護者の理解が得られるよう努める。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
⑧	日本語教室でのN4の取得をめざし、抽出授業やJSLを進めている。また、安心安全な学校生活のために、リモート通訳やAI翻訳なども積極的に利用している。	
<b>次年度への改善点</b>		
⑧		

評価基準	
A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標（最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上）	達成状況
<p>①中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より<b>2ポイント向上</b>させる。（令和6年度2年国語0.78数学0.73／1年国語0.80数学0.77）</p> <p>②大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学生3年生の割合（4技能）を、<b>55%以上</b>にする。（令和5年度38.8%／令和6年度69.7%）</p> <p>③年度末の校内調査における「学級の生徒との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする事ができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を<b>40%以上</b>にする。（令和6年度34%）</p> <p>④年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を<b>55%以上</b>にする。（令和6年度49%）</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>⑤令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の<b>全国比1.01</b>をめざす。（令和6年度男子0.98／女子0.90）</p> <p><b>中間評価</b></p> <p>⑦外国籍生徒の進路が保証できるよう、放課後学習や抜き出し指導を行い基礎基本的な学習能力の定着と日本語能力の向上に努め、<b>100%の進路保障</b>をめざす。（令和6年度100%）</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 「主体的・対話的で深い学び」の推進】</p> <p>少人数授業を基盤にTTや習熟度別少人数指導など個に応じた指導を充実させ、基礎学力の定着に努める。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>・相互に授業を参観する機会を年に2回以上開き、共通理解や指導力の向上を図る。</p>	B
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>	
① 基礎学力定着の取り組みは実施できているが、基礎学力定着には課題が残る。	
<b>次年度への改善点</b>	
① 相互参観の実施に取り組む。	

<b>取組内容②【基本的な方向5 体力・運動能力向上のための取組の推進】</b>		B
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の体育の授業時間において準備運動を確実に行わせ、本校生徒の体力の向上に向けた取り組みの充実に取り組む。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国体力・運動能力、運動習慣調査において、本校生徒の柔軟性が昨年の全国平均との差より男女ともに0.5ポイント詰められるよう準備運動の充実に努める。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
②	準備運動の内容を種目に応じて変化させ、子どもたちの興味が持てるような取り組みができています。	
<b>次年度への改善点</b>		
②	さらに興味を持てるような工夫を図る。	
<b>取組内容③【基本的な方向5 健康教育の推進】</b>		B
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康的な生活ができるよう、健康管理の啓発を行うとともに受診率の向上に努める。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健だよりや保健委員会を中心とした情報発信をおこなう。</li> <li>検診ごとに受診勧告を配付し、未受診の場合は、1学期・2学期に1度ずつ保護者に連絡する。</li> <li>保健委員会を中心とした熱中症の予防、こまめな手洗いや消毒液の使用を呼び掛ける。</li> <li>感染症が流行しやすい冬季には、より感染症を予防できるよう教室換気を行い、換気調査を実施する。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
③	保健委員会活動を中心に、水分補給や暑さ指数の確認の呼びかけを行うことで、熱中症予防の意識を高めることができ、熱中症での重大事案はなかった。	
<b>次年度への改善点</b>		
③	今後も委員会活動を中心に情報の発信と啓発を実施していく。また、後期の保健委員では全校生徒の歯みがきや歯科医院受診の意識の向上にむけて活動を行う。	
<b>取組内容④【基本的な方向5 健康教育の推進】</b>		B
<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の指導のもと、生徒が主体的に美化活動を推進する。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の清掃活動と月一回程度の大清掃を行う。</li> <li>環境美化の意識を高めるために、風紀委員による清掃点検・学年集会での報告を行う。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
④	ほぼ毎日の清掃活動、月1回程度の大清掃を実施することができた。風紀委員による清掃点検・学年集会での報告により環境美化の意識を高めることができています。	
<b>次年度への改善点</b>		
④		
<b>取組内容⑤【基本的な方向5 食育の推進】</b>		B
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態を踏まえ、家庭・地域と連携しながら、教育課程に基づいた食育の実践・推進を行うことにより、心身ともに生徒の育成を図る。</li> </ul>		
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健委員が中心となり、食に関する興味・関心を高めるようにする。</li> <li>残菜ゼロをめざし、給食指導の充実を図る。</li> <li>食育通信を年10回発行し、保護者・生徒に対し「食」に関する情報提供を行う。</li> </ul>		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健委員が給食時の放送や文化祭の取り組みを通して食に関する啓発を行った</li> <li>残菜減少を目指して多くの教員によって積極的な声掛けが行われた</li> </ul>	
<b>次年度への改善点</b>		
⑤		

大阪市立木津中学校 令和7（2025）年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	
A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組みず目標も達成できなかった

年度目標（最重要目標3 学びを支える教育環境の充実）	達成状況
①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の <b>50%以上</b> にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）（令和6年度1%） ②第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を <b>90%以上</b> にする。（令和6年度84%） <b>学校園の年度目標</b> ③授業日における、学校ホームページの平均アクセス数を、 <b>100以上を維持</b> する。（令和6年度127.6）	<b>B</b>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<b>取組内容①【基本的な方向6 ICTを活用した教育の推進】</b> <b>中間評価</b> <b>指標</b> ・令和6年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を65%にする。（令和5年度57%）	<b>B</b>
取組の進捗状況の結果と分析	
① 端末が新しくなり、心の天気の入力の徹底などで生徒の端末の活用率も上がってきている。	
次年度への改善点	
① 各教科でのICTの活用方法を考え発信していく。	
<b>取組内容②【基本的な方向7 働き方改革の推進】</b> ・「学校園における働き方改革推進プラン」に基づく取組の効果検証 <b>指標</b> ・ゆとりの日の設定を月2回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間は2日以上設定する。	<b>B</b>
取組の進捗状況の結果と分析	
② ゆとりの日の設定は現状なされていない。学校閉庁日は夏期において4日間とられた。ゆとりの日設定はなくとも本校では長時間勤務が目立つ教員は少ない。今後は月二日以上ゆとりの日を行事予定に組み込む。	
次年度への改善点	
②	
<b>取組内容③【基本的な方向7 教員の資質向上】</b> 指導の方法を工夫・改善し、学習意欲を高めるとともに基礎・基本の学力の定着をめざして、相互授業参観と研究授業を実施する。 <b>指標</b> ・年2回以上の相互授業参観と研究授業を実施する。	<b>B</b>
取組の進捗状況の結果と分析	
③ 計画としては実施できていないが、多くの教員が教科外で関わる時間を多く持っている。	
次年度への改善点	
③ 相互参観と研究授業の実施に取り組む。	

<b>取組内容④【基本的な方向7 教育ブロックでの教育の推進】</b>		<b>B</b>
学びサポーターを活用し、補充学習、放課後学習会、中3集中学習会、夏季休業中の補習などを実施する。		
<b>指標</b> ・補充学習を5教科中心に月2回実施する。 ・放課後学習会や夏季休業中の学習会への参加率を向上させるとともに中3集中学習会を充実させる。		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
④	取り組みは滞りなく実施できている。	
<b>次年度への改善点</b>		
④	順調に取り組めるように学校行事などの調整を行いたい。	
<b>取組内容⑤【基本的な方向8 学校図書館の活性化】</b>		<b>B</b>
図書館機能・蔵書を充実し、読書習慣の定着を図る。ICT機器を活用し、調べ学習・話し合い活動等の学びを推進する。		
<b>指標</b> ・図書館を原則毎日開館し、利用者数を増やす。蔵書調査・廃棄・充実を適正に行い、より時期やニーズに適した本を提供する。来年度の全国学力・学習状況調査において、同項目で肯定的な回答の割合を今年度より増加させる。		
<b>取組の進捗状況の結果と分析</b>		
⑤	順調に取り組めている。	
<b>次年度への改善点</b>		
⑤	さらに活用を増やす。	
<b>取組内容⑥【基本的な方向9 地域学校協働活動の推進】</b>		<b>B</b>
・小中連携アクションプランに基づき、「なにわ子ども人権文化祭」や「部活動体験」などで小中一貫教育を充実させ、連絡会や情報交換により、連携を密にする。		
<b>指標</b> ・年2回以上学校行事で児童生徒の交流を図る。「連絡会」を実施し、教職員との交流を図る。		
<b>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</b>		
⑥	指標通り取り組んでいる。	
<b>次年度への改善点</b>		
⑥	交流の機会をより多くとれるようにする。	

大阪市立木津中学校 令和7（2025）年度 運営に関する計画・自己評価【各教科】

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取り組みの進捗を測る指標		達成状況
<p><b>【国語】</b></p> <p>生きる力をつけるために、読み取る力をつけ、理解したことや考えたことを表現できるようにする。語彙を増やし、読み書きができるような取り組みをする。</p> <p><b>指標</b></p> <p>漢字の練習やテストを単元ごとに1回は行う。その際に、小学校で学習した漢字も復習させ、自ら発表する力を育てる。</p>		B
結果	毎回の漢字練習プリントは、ほとんどの生徒が期限内に提出できている。	
改善点	2学期はクラス内でスピーチ大会などを行い、自ら発表する機会を作りたい。	
<p><b>【社会】</b></p> <p>ただ暗記するのではなく、1つの課題に対して「なぜ」「どのようにしてこうなったのか」を社会的背景から思考できるような授業を実施する。また、丁寧な指導を心がけ、ICTを活用した授業展開を行い、社会がより身近なものであることを理解させる。3学年を通して知識の定着を図る。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体の授業を展開し、社会的事象についての思考力をつけ、社会の変化をふまえて、公正に判断し表現することができるようにする。</li> <li>・さまざまな資料やグラフを活用することにより、分析する力を養い、より深く考える力を育成する。</li> <li>・小テストや課題学習を実施し、授業内容を精選して、基礎的な学力の定着をはかる。</li> </ul>		B
結果	課題学習を通じて、資料活用の技能や基礎学力の定着ができているように感じる。	
中間評価	教員のみならず、生徒にもICT機器を活用させ、さらに思考力や表現力の向上を図っていく。	
<p><b>【数学】</b></p> <p>数学の基本となる基礎的な計算力を定着させ、数学に興味・関心をもち、自ら進んで学習する態度を養う。</p> <p><b>指標</b></p> <p>各学年とも週1回の補充時間と朝学習の充実、各定期テスト前に2時間以上は、基礎・基本の演習を繰り返し行う。</p>		B
結果	授業ごとの演習を繰り返し行うことで、基礎的な計算力の定着を感じる。	
改善点	引き続き取り組みを続けるとともに、ICT機器の活用で発展的な内容にも学んでいきたい。	

<b>【理科】</b>		<b>B</b>
<p>生徒が観察・実験をすることで、生徒の興味関心をひきつける工夫をする。</p> <p>定期考査前には試験範囲の復習・演習をおこなう。そういった取り組みにより基礎学力の向上につなげる。</p> <p><b>指標</b></p> <p>実験については、1月に1回以上は取り組む(3年生3学期は除く)。復習・演習は、定期考査の前に3時間以上取り組む。</p>		
<b>結果</b>	実験に関しては1か月に1回以上実施をすることができている。定期考査前の復習・演習に関しても計画通り実施している。	
<b>改善点</b>	教科に対しての興味や関心の向上には寄与していると感じているが、基礎学力の向上にはまだ課題があると感じている。引き続き、取り組みを進めていきたい。	
<b>【音楽】</b>		<b>B</b>
<p>主体的に学びに向かう姿勢を醸成するために、毎回の授業のめあてや目標を提示し、振り返りを行い、毎時間の達成感や理解の向上につなげる。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・每学期グループやペア活動を通して、生徒が教えあったり、考えたこと、工夫することを意見交換できる機会を作る。</li> <li>・意欲的に取り組めるように各学年2種類以上の楽器を使い、基礎的な奏法や表現方法を各時間で定着する。</li> </ul>		
<b>結果</b>	全学年、毎時間の目標設定を確認し、取り組むことができたこと、ペア、グループ活動を通して意見交換する時間を設け、積極的に取り組めた。	
<b>改善点</b>	引き続き取り組みを続けるとともに、2種類以上の楽器や表現方法を考えさせるよう取り組んでいきたい。	
<b>【美術】</b>		<b>B</b>
<p>毎回の授業の目標をよりわかりやすく設定し、生徒たちが目標に向かって取り組む意欲を高め、それぞれの表現力や技能の向上をより感じられるようにする。</p> <p><b>指標</b></p> <p>毎回の授業後にその日の達成を振り返らせることにより、自分の成果を実感させる。作品が完成したら自分の作品について発表したり他の生徒と作品について語り合ったりすることで、創作する自信につながるようにし、意欲が高まるようにする。</p>		
<b>結果</b>	全学年、毎時間の目標設定を各自で確認し記入をする姿勢は定着できていた。	
<b>改善点</b>	記入の定着はできているが、目標内容についてはしっかりと考えて記入する生徒が少ない。目標内容がしっかりと記入できるようにしていきたい。	

<b>【保体】</b>		<b>B</b>
<p>体育活動の基本となる体力の向上をめざし、各種目において技術を向上させる土台作りをする。また、生涯スポーツにつながる授業を展開する。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の最初にトレーニング（腹筋・背筋・腕立て）をおこない、3年次には全員が決められた回数（男子30回・女子20回）をこなせるようにする。</li> <li>・各種目の特性に応じてグループでの活動を取り入れ、生徒がお互いにアドバイスし合える環境をつくる。</li> <li>・体育委員が中心となり運営する体育行事を2回以上取り入れる。</li> </ul>		
<b>結果</b>	各学年で課題とする内容の違いはあるが順調に進んでいる。グループ活動は数多く取り入れ、リーダー育成や仲間意識が高まっている。	
<b>改善点</b>	生涯スポーツと健康について、しっかりと保健の授業と連携して取り組む。	
<b>【技家】</b>		<b>B</b>
<p>生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し想像する資質・能力を育成する。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きる力を身につけるために、各学年実習に力を入れ、その結果を2回以上展示や発表させる。</li> <li>・各学年、総合的な言語活動を1テーマ以上行い、読解力を中心とした思考力・判断力・表現力を育成する。</li> </ul>		
<b>結果</b>	<p>・授業では、多くの動画資料や実習を取り入れて体験的な学習を行い、興味・関心を高めることに努めた。作品について、お互いが評価し合い、意見交換も行った。</p> <p>・文化祭では、1年生は、作品の構想図、調理カード。2年生は、栽培実験実習発表、花ふきん。3年生は、LEDを光らすプログラムを作りイルミネーションメッセージ、絵本の展示を準備している。</p> <p>・総合的な言語活動では、では、1年生は、「朝食の献立を考えよう」。2年生は、「ラディッシュの栽培実験」「自分らしい衣服のデザインを考える」。3年生は、「幼児のおのちゃを考える」を行った。</p>	
<b>改善点</b>	見方・考え方を働かせた深い学びをするために、実習に力を入れ学習用端末やICT機器を活用した授業展開や実習内容に取り組む。	

<b>【英語】</b>		<b>B</b>
4 技能統合型の授業実践を通して発信力を高める。また、学習形態や課題を工夫し、表現活動を支える基本的な表現や語彙の定着を図る。		
<b>指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において、生徒が英語を使って互いに意見を交流する機会を毎時間設ける。</li> <li>・各学年、学期に1回以上生徒が自分で調べたり、考えたりしたことをまとめ、発表する機会を設ける。</li> <li>・单元ごとに、暗唱テストや語彙・表現の小テストを実施する。</li> </ul>	
<b>結果</b>	<p>生徒が英語を使って互いに意見を交流する機会をできる限り設けており、生徒も話そうと取り組んでいるが、基本的な語彙や文法の定着がないと難しい面もある。</p> <p>各学年、学期に1回以上生徒が自分で調べたり、考えたりしたことをまとめ、発表する機会を設けることができた。</p> <p>单元ごとに、暗唱テストや語彙・表現の小テストを実施することができている。基礎的な単語の定着も感じられる。</p>	
<b>改善点</b>	<p>基礎は定着してきているが、場面を指定して適切な英文を書くことや言うことは難しい生徒が多い。英語で自分の考えを伝えることができたという充実感を学習意欲につなげてもらいたいため、TTや入り込みで支援を引き続きしていく。</p>	